

農業における建築物、構築物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	16~17	水路に落ちたゴミを掃除していた。そのゴミを道路側にある作業車まで運ぶためにフェンスを跨いだ際、腰に付けていた道具が引っ掛かり、バランスを崩し転倒して負傷した。跨いだ際に両手にゴミを持っていたため受け身を取ることが出来ず、不安定な体勢で着地して、左足を痛めた。	10 20 29	
5	9~10	個人宅にて、高さ2.5m位の場所から下に停めてある2tダンプに剪定ゴミを落としていた時に、フェンスが倒れて頭から2tダンプの荷台に転落した。	10 65 29	
6	10~11	農園の梅畑で梅拾い作業中、石垣の石が崩れ落ちて、左足の親指に当たり骨折した。	1 47 9	
9	16~17	ビニールハウス内で後ろに向かって後ろ向きに清掃している時に、足元にホースがあるのに気が付かないで引っかかってしまい、そのまま後ろ向きに転倒してしまい負傷した。	1 68 9	
10	12~13	当社借地の畑に於いて、午前の作業終了後、畑に隣接している道路に社用車があり、そこに弁当を取りに行こうと5m幅の乗入口から車へ移動する際、足元を見てなかったため、乗入口横の幅50cm深さ1mの側溝に落ち、左脇腹と左膝を打ち負傷したものの。	10 28 29	
11	13~14	共同住宅において草刈作業後の刈草の片付け中、塀の上よりコンクリート通路に飛び降りた際に（高さ約1.8m）負傷（左足踵骨折）したものである。	1 28 9	

11	15～ 16	個人宅の裏のガレージ（3m位）の上の物干し場で柿の木の剪定作業をしていた。 ガレージの上でバランスを崩し下に落ちた。	68	1 ～ 9
11	9～ 10	自家消費用牧草ロールを足場にして、屋根の骨組みを建築中に、どうしても下に降りなければならなくなり、降りようとして、後ろ向きにバランスを崩して落下した。（牧草ロール2段目（約2.5m位））	51	1 ～ 9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)